

国土交通大臣賞

受賞者名

地方独立行政法人岩手県工業技術センター
岩手県コンクリート製品協同組合

所在地

岩手県盛岡市

受賞テーマ

不法投棄物リサイクルによる溶融スラグのコンクリート用細骨材への利用

岩手県工業技術センターでは、岩手・青森県境に不法投棄された大量の産業廃棄物をリサイクルするため、不法投棄物を溶融処理したスラグをコンクリート用細骨材に利用するための研究を行い、溶融スラグの有害物質に関する安全性評価やコンクリート用骨材としての性能評価に係る各種試験を実施し、スラグを適正に利用するための基礎データを得た。

さらに、コンクリート二次製品にスラグを骨材利用した製品（U形側溝やインターロッキングブロック、ヒューム管）の強度試験や、当該スラグを用いたコンクリート二次製品の試験施工を行った。

これらの研究成果は、岩手県再生資源利用認定製品における認定基準に活用され、産廃スラグをコンクリート二次製品に広く使える道を開いた。

また、岩手県コンクリート製品協同組合は、岩手県コンクリート製品協会とともに、コンクリート製品の品質維持向上・利用普及・物流販売等に関する業務を行っている。

同組合では、平成 18 年度から始まった岩手・青森県境不法投棄物の溶融処理に際し、溶融施設から発生するスラグを毎年 1,000 t 程度引き取り、組合内のコンクリート二次製品工場に配布して、細骨材置換により利用している。

このスラグの細骨材置換利用に当たっては、岩手県工業技術センター及び岩手大学との研究成果が生かされており、安全面でも性能面でも問題ない形でリサイクルが行われている。

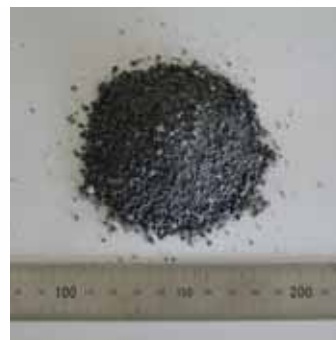
往々にして嫌われがちな不法投棄物由来の溶融スラグについて、確実な研究データをベースに利用普及活動を進めており、コンクリート用細骨材への溶融スラグ利用を通じ、不法投棄物のリサイクル推進に貢献している。



U形側溝設置作業



溶融スラグ入りのマーク



不法投棄物溶融スラグ(細骨材)